

科目名	<b>経営組織論</b>	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修	■ 選択
			法律学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	<b>Management and Organization</b>	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	いしかわ まさはる	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	石川 雅敏	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	経営における「組織」の意味を理解し、組織運営の要点を理解する。				
到達目標	<p>人はある共通目的を達成するために「組織」を作ります。  本講義ではバーナードの「組織」の3要素を中心に、組織論の要点を説明します。  この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。</p> <p>1) 企業の組織設計に関する基礎的知識を学ぶことができます。  2) 組織をより良く運営していくための基礎的知識を学ぶことができます。</p>				
授業概要	経営組織に関する入門書を用いて組織論の基礎的知識について解説します。				
授業計画					
第1回	イントロダクション				
第2回	組織とは何か				
第3回	組織の基礎理論				
第4回	組織構造と組織デザイン				
第5回	組織におけるモチベーション				
第6回	集団力学				
第7回	組織の意思決定				
第8回	組織と環境				
第9回	組織構造のダイナミクス				
第10回	組織間関係				
第11回	組織変革の捉え方				
第12回	組織変革の進め方				
第13回	組織のパラドックス				
第14回	流されず、しなやかに				
第15回	まとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	<p>1. 教科書の該当箇所に必ず目を通す。分からない用語は調べてノートにまとめる。(1時間程度)</p> <p>2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通し、経済の動きに親しむ。(0.5時間程度)</p>				
履修条件 受講のルール	<p>遅刻は5分以内まで。それ以上は出席と認めません。</p> <p>いかなる理由でも5回以上欠席したら試験は受けられません。履修取消しです。</p> <p>毎回宿題を出します。必ず次回の出席カードに答えを記入して提出下さい。</p> <p>私語・スマホは厳禁です。</p>				
テキスト	「経営組織」 安藤史江、稲水伸行、西脇暢子、山岡徹、中央経済社 (2019)				
参考文献・資料	講義資料 (Power Point 資料) は事前にポータルサイトに掲載します。 各自でダウンロードして、PCまたはタブレットで閲覧しながら、講義を聞いてください。				
成績評価の方法	毎回の質問に対する回答の提出 (50%)、定期試験 (50%)				

	※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週水曜日・金曜日 13:00～15:00 *これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	自身の会社経験や日本経済新聞の記事を用いて、ビジネス事例を説明します。
学生へのメッセージ	企業に就職される方のみならず、公務員を希望される方も組織がどのような意図をもって構成されているかを理解しておくことはとても重要です。一緒に経営組織を学びましょう。